

(別紙) 中部運輸局評価結果 令和7年3月27日付け事務連絡

計画名	福井市地域公共交通計画
評価対象	地域公共交通計画の評価結果

二次評価結果

評価できる取組

- ・路線バスの大幅減便等に対応するため、国・県・交通事業者と協議・調整し、利用者への影響を鑑み、代替交通の確保や運行ダイヤの調整等、通学等利用者の利便性を維持されたことを確認しました。
- ・運転者不足を背景とした人材確保に関する取組として、国、県、ハローワーク等と連携したバス運転体験会・会社説明会の開催による業界のPR、また、市職員が兼業により路線バスの運転者として運転業務を支援していることなど、幅広い取組を実施されたことを評価します。
- ・過疎集落等における高齢者の移動手段確保のため、地域の多様な輸送資源を活用し支援を行っていることを確認しました。
- ・交通系ICカードの支払決済比率について、通勤・通学利用が中心の路線においては60%～70%で推移しており、ICカード決済の普及が拡大していることを確認しました。

期待する取組

- ・路線バスの減便・廃止が進められる中、今後も状況を注視し、運行事業者等と連携した取組、沿線自治体等と連携した行政の支援等、利用促進・系統維持、復便等に資する積極的な取組が実施されることを期待します。とりわけ高校生の通学に係る足の確保に関して、正確にニーズを把握・分析し、系統維持や利用促進に向け、関係事業者等と連携した取組を加速化させるよう期待します。
- ・また、これまで事業者中心に運営されてきた基幹的なバス路線に対する施策を充実されるよう期待します。特に、沿線が都市機能・居住誘導の対象となっている路線については、公的負担も視野に、早期に運行本数・運行時間帯の大幅な改善を図ることに加え、待合環境などサービスの高度化も推進されることを期待します。
- ・運転者などの人材不足が進む背景にあって、引き続き運転者確保に向けた様々な取組が推進されることを期待します。対策に当たっては国や県と連携した取組や、様々な部局と連携した取組を推進されることを期待します。
- ・自治会による輸送活動に関し、運転手の高齢化が課題となっていることを踏まえ、事業継続性担保のため地域と緊密に連携した取組を推進されるよう期待します。